



一般社団法人 The Gunma Physical Therapy Association

群馬県理学療法士協会

初学者のための

# 「発表スライド」の作り方

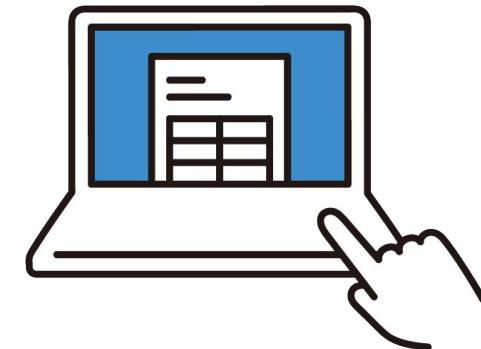
一般社団法人群馬県理学療法士協会 学会部



## 当資料の目的

学会の発表スライド作成において

- ✓ 見やすい資料のポイントを理解できること
- ✓ 発表スライドの作成に活用できること

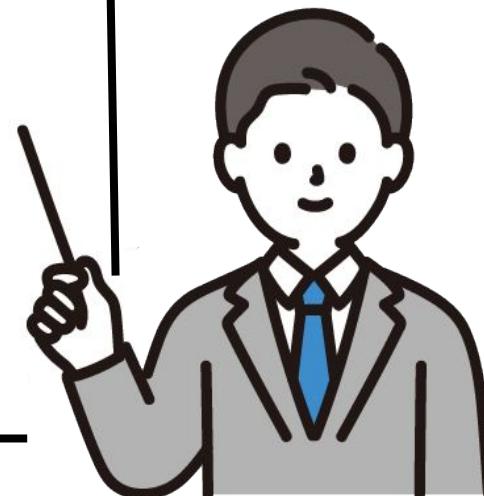


## スライドの作成にあたって

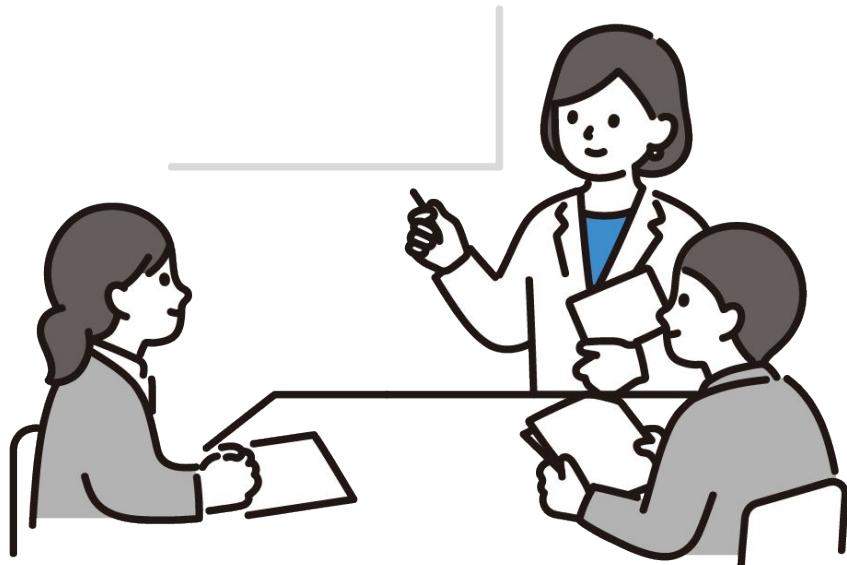
学会発表においてスライドは、  
**「言語のみでは理解しづらい内容を、視覚的手段を用いて効果的に伝達する役割」**を担っています。

スライドを作る前に、どんな内容を、どのように伝えるか を整理して、全体の流れをイメージしておきましょう。

また、次のページにある確認事項も事前にチェックしておくとスムーズです。



## 学会規定や参加者の確認



- ・発表時間はどれくらい？
- ・聴講する人は(PT?, それ以外?)?
- ・スライド枚数の指定は？
- ・動画の使用はOK？
- ・COI開示の義務は？
- ・パソコン(OS)の種類の指定は？  
(変換器の持参を指示する学会があります)
- ・資料作成ソフトの指定は？  
(PowerPointに限定する学会もあります)

## 群馬県理学療法士学会では

- ・発表は口述発表(Microsoft Power Point)
- ・発表7分間、質疑3分間
- ・利益相反について発表時に必ず開示  
「利益相反(Conflict of Interest:COI)の開示に関する基準」に準拠 など

\*変更となる場合があるため、必ず学会HP等で確認する

応募・発表にあたり様々な決まりがあります  
募集要項を確認してみましょう！



例)なし

## 第〇〇回 群馬県理学療法士学会 COI開示

\*タイトルの次のスライドに入れることが多い

本演題に関連し、発表者らに開示すべき利益相反はありません

発表者名：群馬太郎、高崎二郎、前橋三郎

例)あり

## 第〇〇回 群馬県理学療法士学会 COI開示

本演題に関連し、発表者らが開示すべきCOI関係にある企業などとして、

①顧問	なし
②株保有・利益	なし
③特許使用料	なし
④講演料	なし
⑤原稿料	なし
⑥受託研究・共同研究費	〇〇株式会社
⑦奨学寄附金	〇〇株式会社
⑧寄付講座所属	なし
⑨試薬・機器・役務との供与	あり(〇〇株式会社)
⑩特別な便益の提供	なし

発表者名：群馬太郎、高崎二郎、前橋三郎

## スライド枚数

### ①発表予定の学会規定を確認する

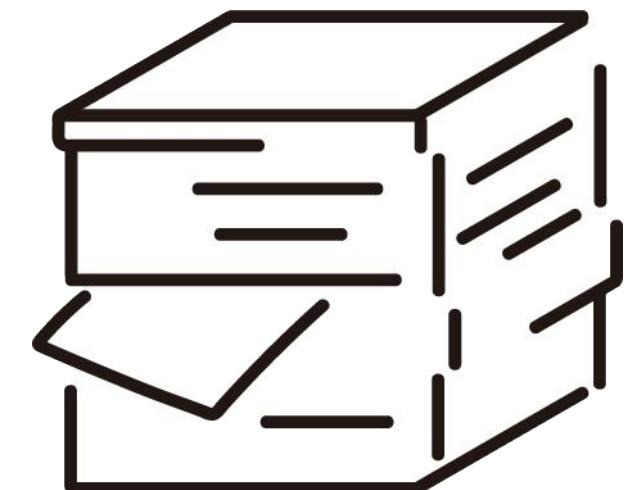
(枚数制限がない場合が多い)

### ②増やしすぎない

スライド1枚につき1分程度

発表時間7分であれば、**7~11スライド程度**

(あくまで目安)



## スライドの構成(各項目の配分量)

### 研究報告:

はじめに

目的

対象

方法

結果

考察(限界含む)

結論

### 症例報告:

はじめに

症例紹介

介入内容

経過

最終評価

考察(限界含む)

結論

スライド数の目安

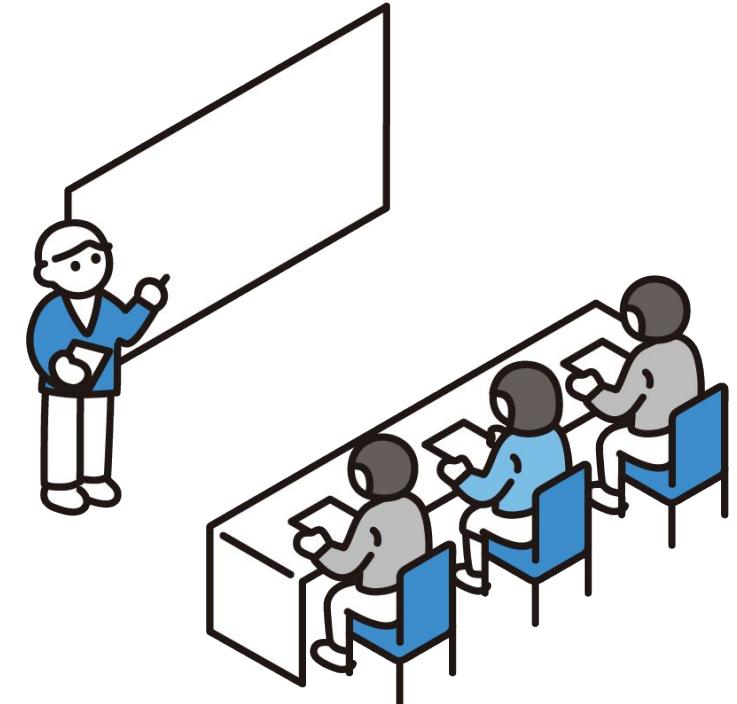
2枚

1~2枚

1枚

## 作成における4つのポイント

- ①徹底して情報を絞る
- ②脳にやさしい見やすい配置
- ③スライド内の要素を整える
- ④図表の選択



## 作成における4つのポイント

①徹底して情報を絞る

②脳にやさしい見やすい配置

③スライド内の要素を整える

④図表の選択

①

- ✓ 1スライド 1メッセージ
- ✓ 文字やイラストは最低限に
- ✓ 不要な装飾は避ける

多職種連携が  
非常に重要である



NG例

メッセージが複数ある

専門知識・スキルを発揮することで  
効率的なサービスを提供できる



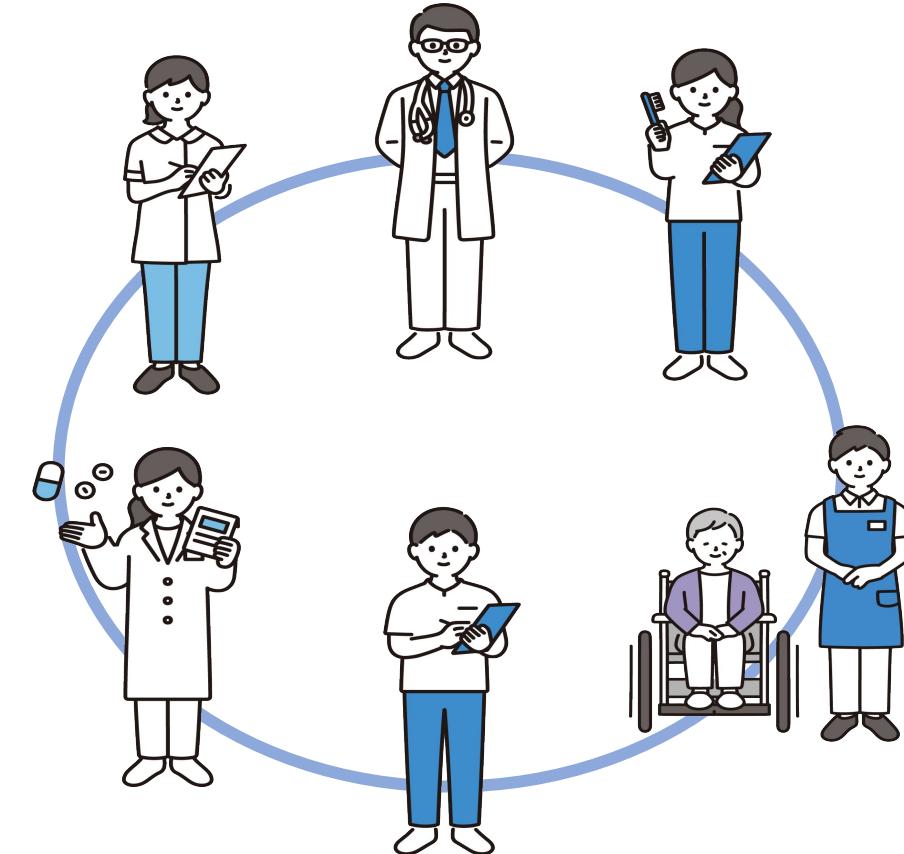
一般社団法人 The Gunma Physical Therapy Association

群馬県理学療法士協会

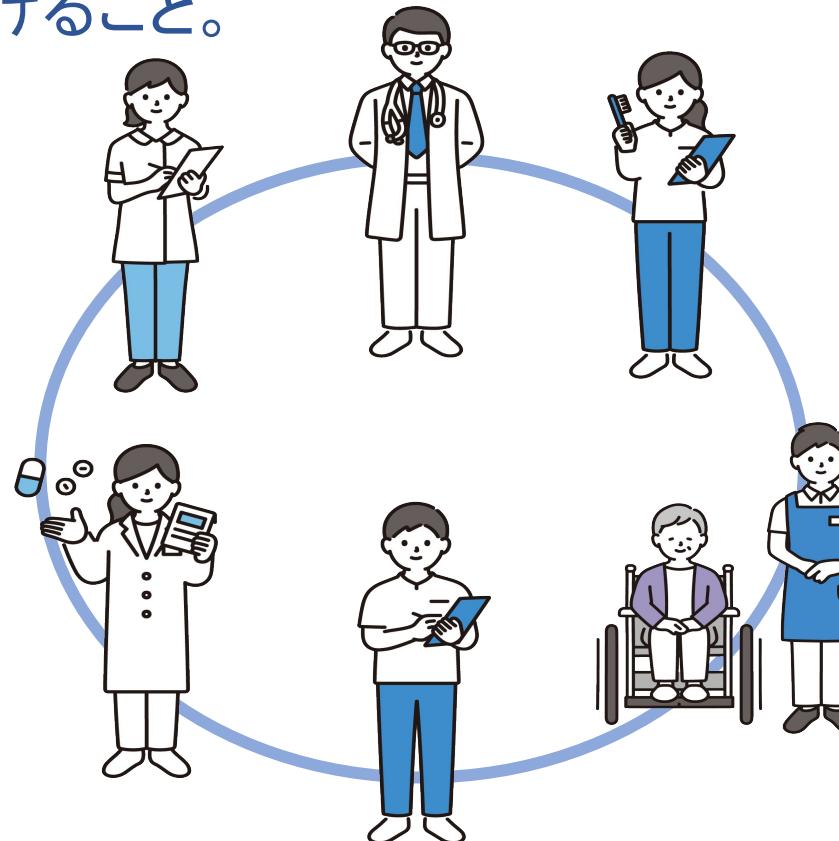
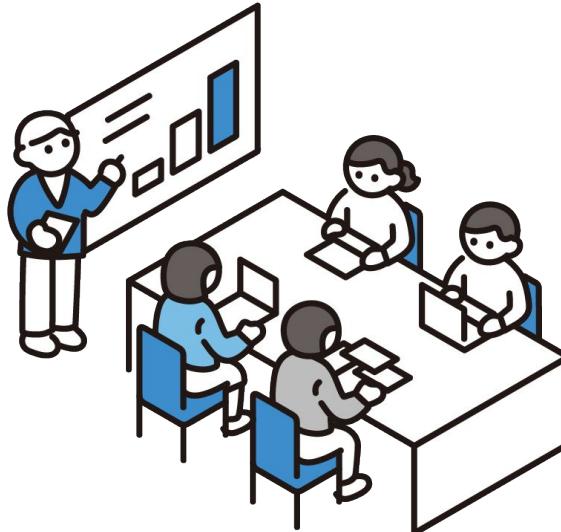
OK例

メッセージが1つだけ

多職種連携により  
**「質の良い医療・介護」**  
を提供することができる



多職種連携とは  
医療や介護、福祉に関わる  
さまざまな専門職種が互いの専門性を活かし、  
一つのチームとして地域に働きかけること。  
必要とされるケアについて  
情報を共有し、解決すべき課題を見つけアプローチしていく。



NG例

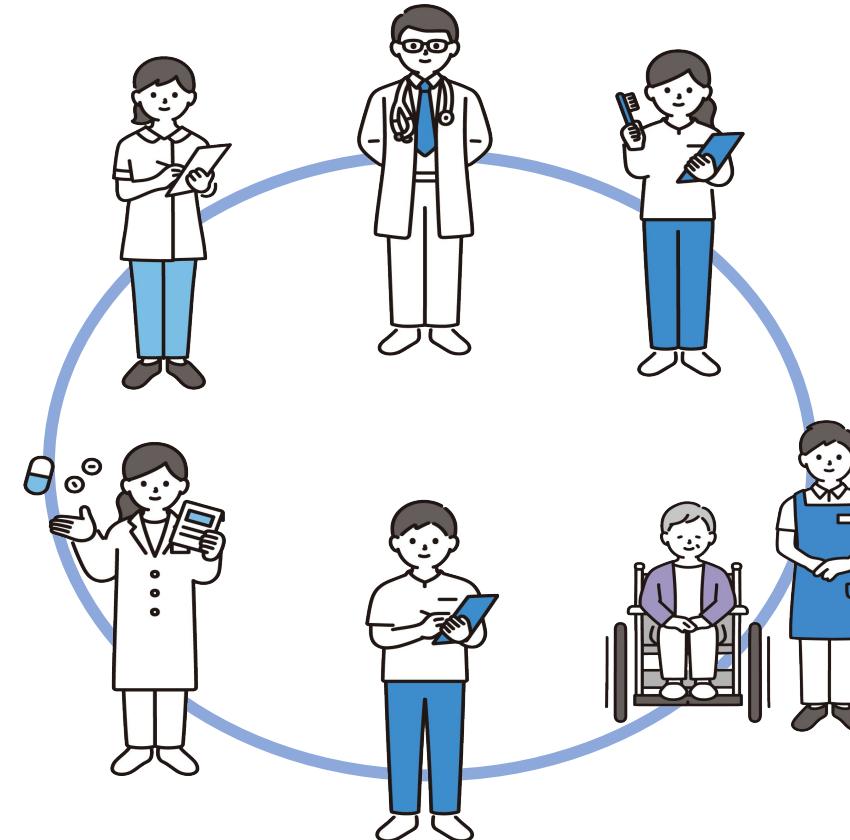
文字やイラストが多い

## 【多職種連携 とは】

さまざまな専門職種が互いの専門性を活かし、  
解決すべき課題を見つけ包括的にアプローチ すること。

OK例

文字やイラストは最低限に



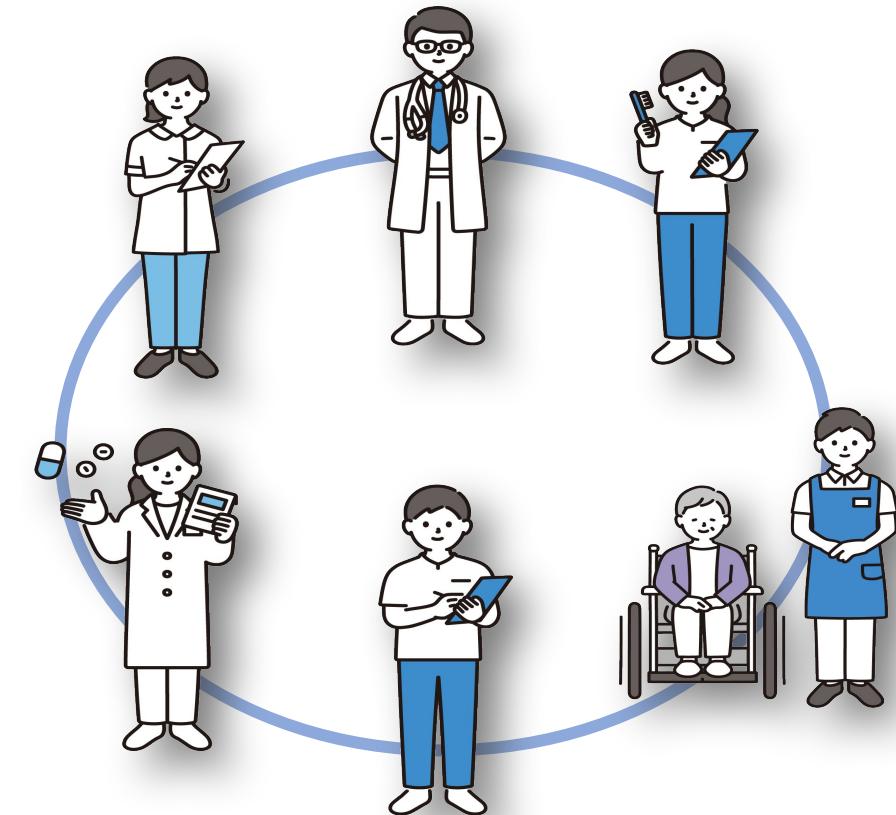
## 多職種連携とは



さまざまな専門職種が**互いの専門性を活かし**、  
解決すべき課題を見つけ**包括的にアプローチ**すること。

### NG例

多色・枠線・影など  
統一感がなく煩雑



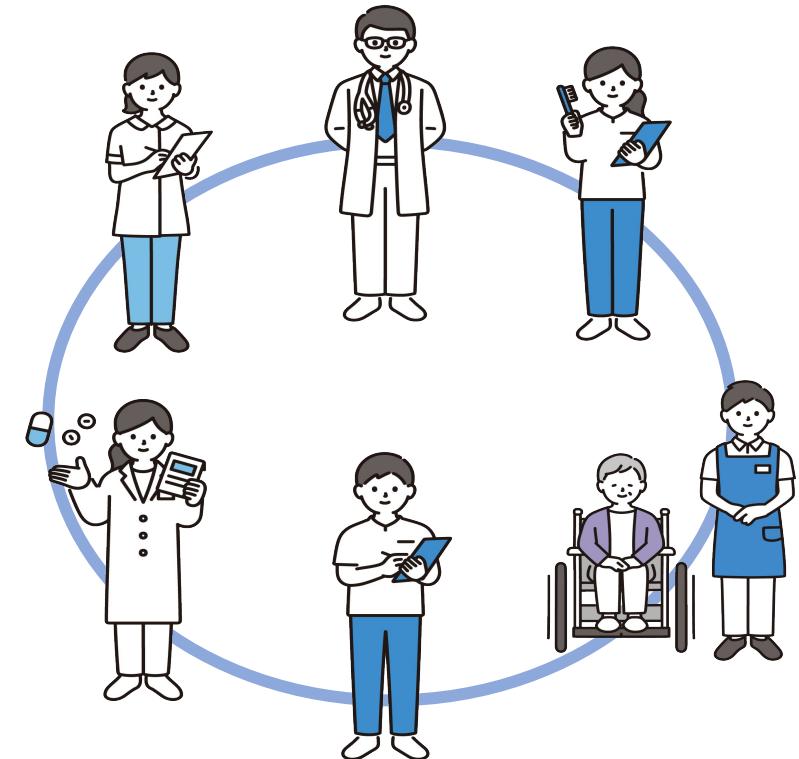
## 多職種連携とは

さまざまな専門職種が**互いの専門性を活かし**、  
解決すべき課題を見つけ**包括的にアプローチ**すること。

テーマや強調したい部分がわかりやすい

OK例

色や影、枠線などは最低限



## 作成における4つのポイント

①徹底して情報を絞る

②脳にやさしい見やすい配置

③スライド内の要素を整える

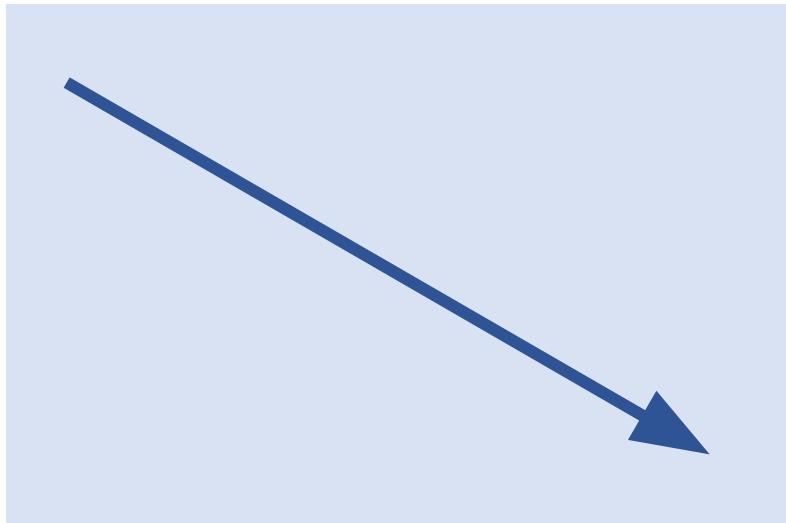
④図表の選択

②

- ✓ 重要なこと、概要は上
- ✓ 過去、イメージは左
- ✓ 関連性が高いものは近くに

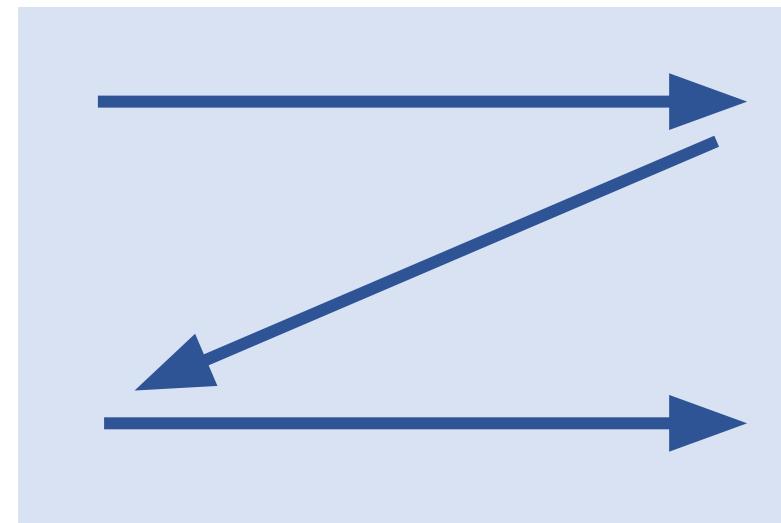
人の視線の動きとして  
左上から右下に流れる習性があるといわれています。

グーテンベルク・ダイヤグラム



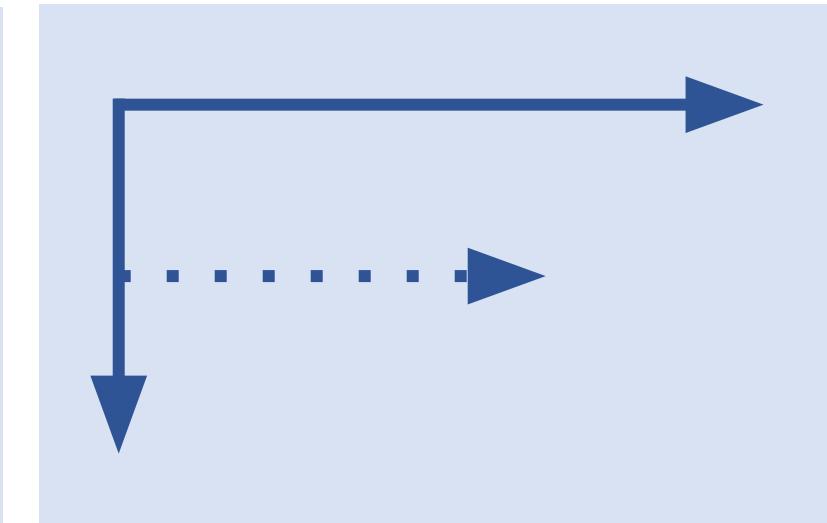
流し見をする場合  
基本的にはこの動き

Zの法則



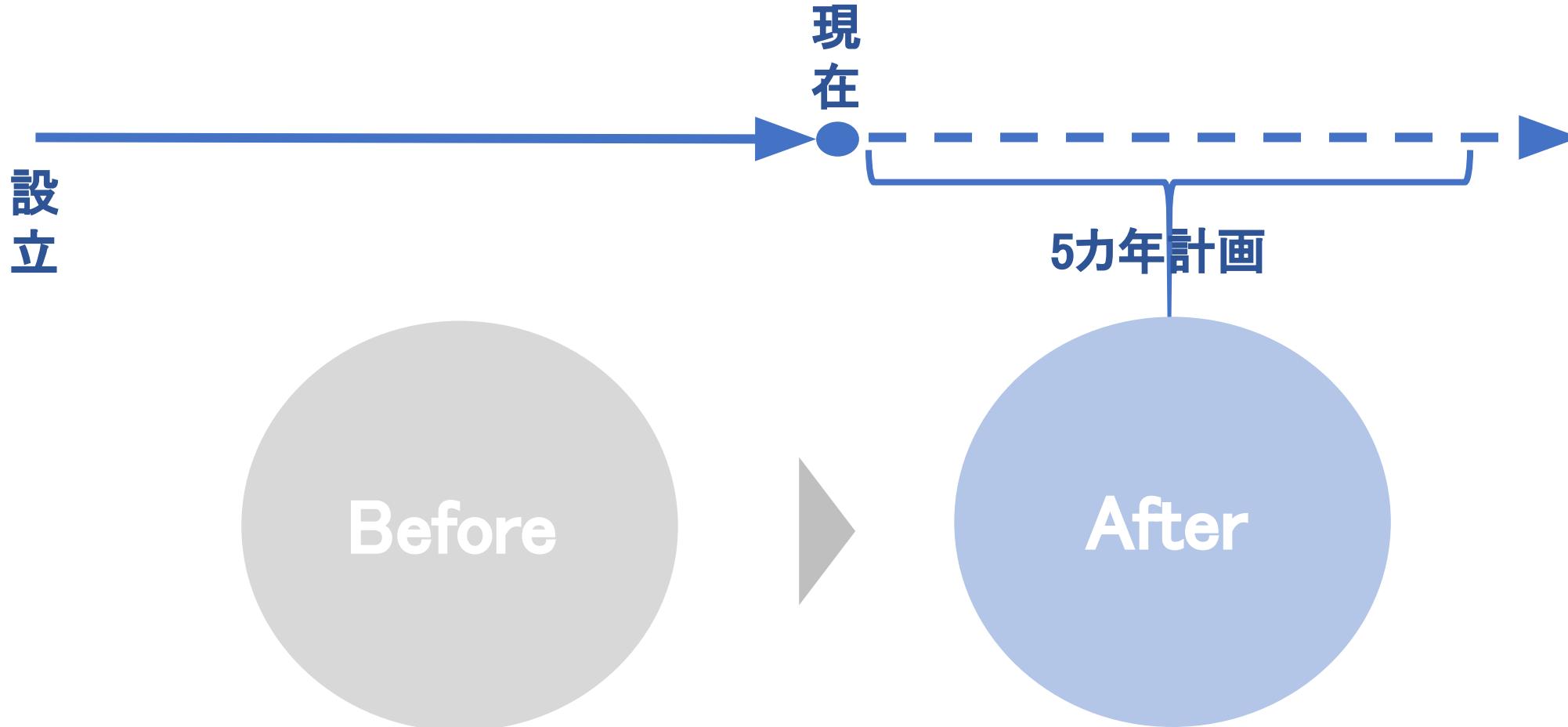
情報が多くまんべんなく  
読み込む場合

Fの法則

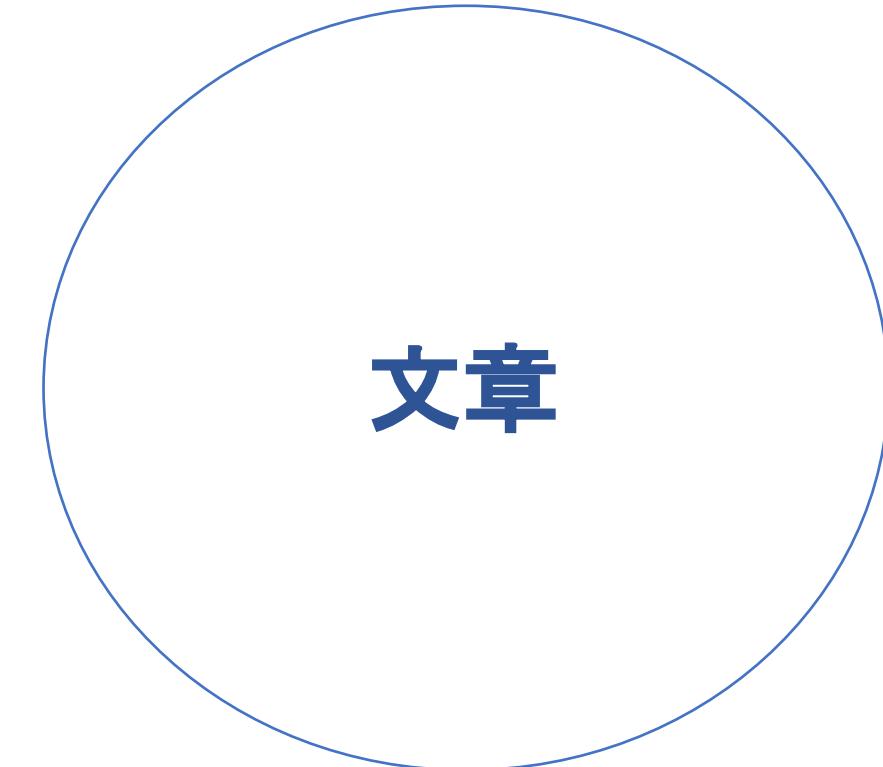


表など、情報が  
詰まっているものを  
読み飛ばしする場合

視線の流れは左から右になりますので、  
時系列のある内容は過去を左、現在を右に配置します。



まず左側から情報を得るため、  
感覚的に想起させる図や写真など、イメージは左側に配置する。



## 作成における4つのポイント

①徹底して情報を絞る

②脳にやさしい見やすい配置

③スライド内の要素を整える

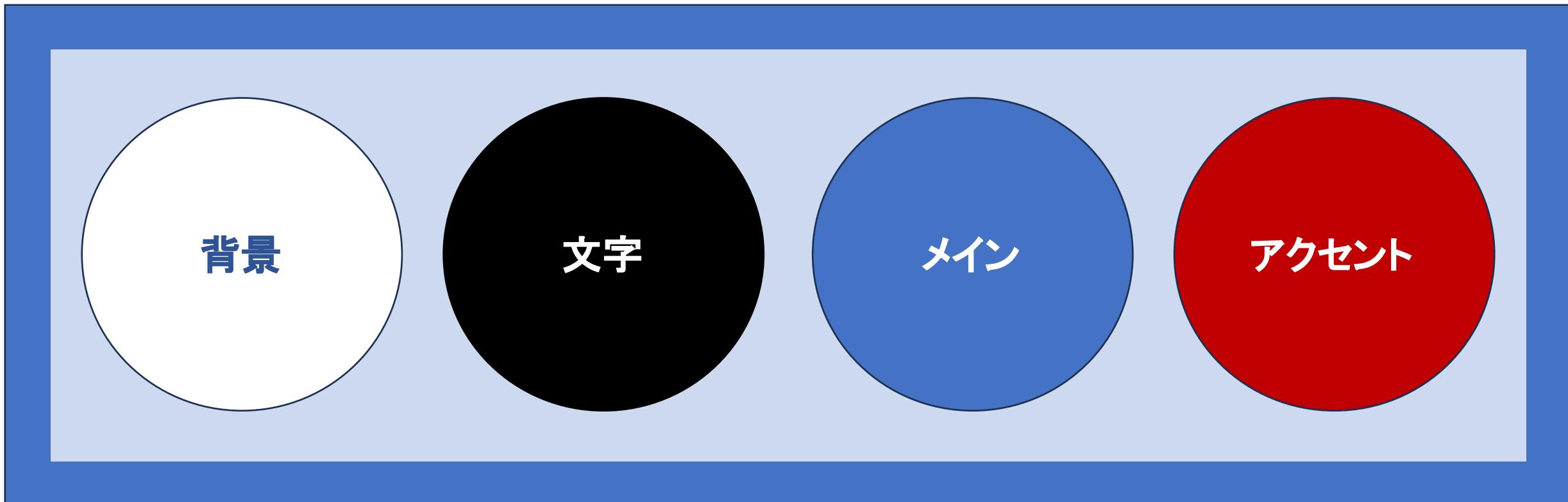
④図表の選択

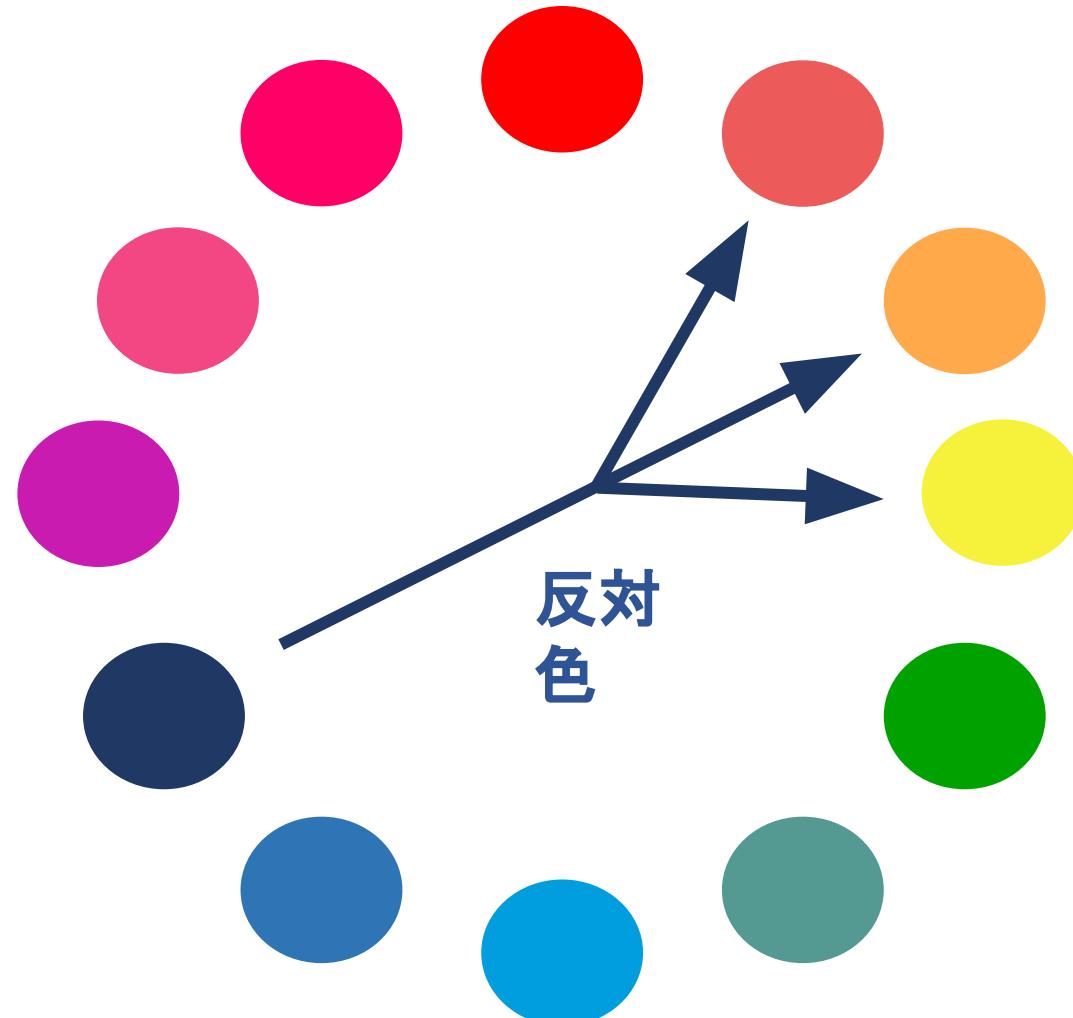
③

- ✓ 色の役割を決める
- ✓ 揃えることに徹底する
- ✓ 文章を読みやすくする

使用する色は数を絞り、それぞれの役割を明確に！

【例】





## 「カラーの選定方法」

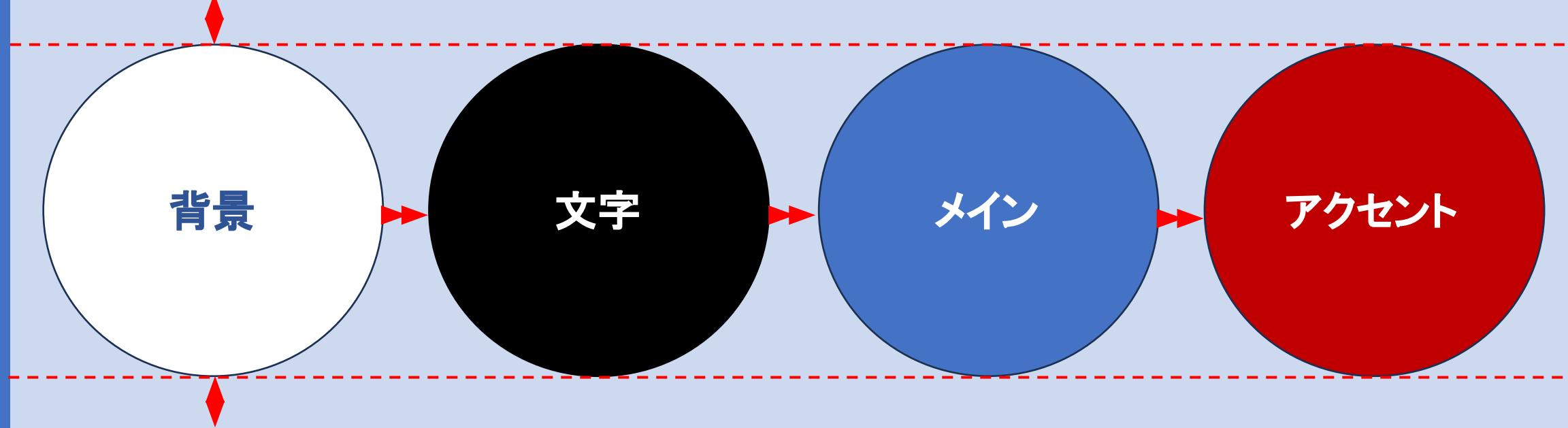
メインカラーは企業や団体をイメージする  
カラーを選定するのが一般的です。

アクセントカラーはメインカラーの  
反対色から選ぶと引き立ちます。



## 揃えることに徹底しましょう！

大きさや配置が揃っていないと、整っていない印象や  
間違った認識を生む可能性があります。



## 文章の読みやすさを意識しましょう！

### NG例

単語の途中で改行してしまうと読みにくくなってしまう。

できる限り文章が読みやすい位置で改行し、バランスが悪いときは言い回しを調整しましょう。

行間、文字揃え(左・中央)、余白も意識するようにしましょう。

### OK例

単語の途中で改行してしまうと読みにくくなってしまいます。

できる限り文章が読みやすい位置で改行し、バランスが悪いときは言い回しを調整しましょう。

行間、文字揃え(左・中央)、余白も意識するようにしましょう。

## 作成における4つのポイント

- ①徹底して情報を絞る
- ②脳にやさしい見やすい配置
- ③スライド内の要素を整える
- ④図表の選択

④

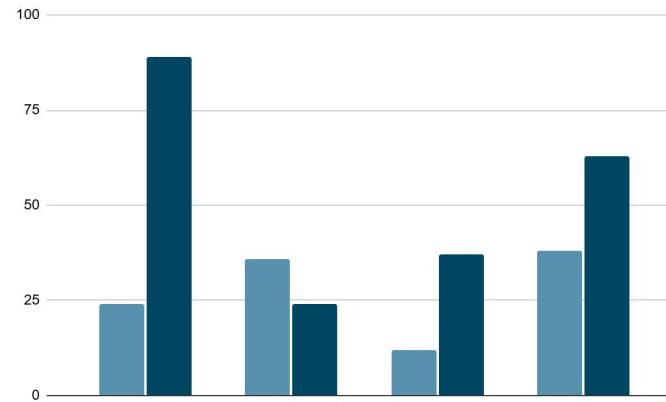
提示したい情報によって  
使い分けをする

## スライド作成で図表のどちらを選択する？

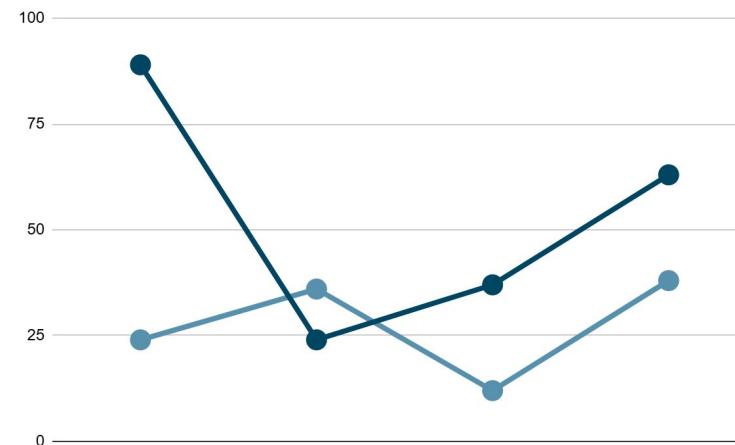
	メリット	デメリット
図	傾向や変化を直感的に理解できる。 定性的な結果や複雑な情報を表現できる。	数値を正確に読み取ることが難しい。
表	数値を正確に比較できる。 多くのデータを整理できる。	傾向や変化を把握しにくい。

## 図(グラフ)で示したいものは?

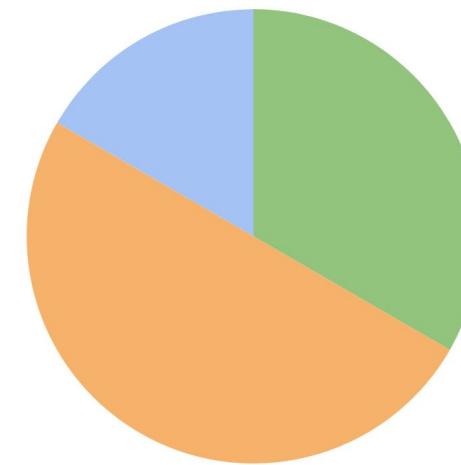
差



変化

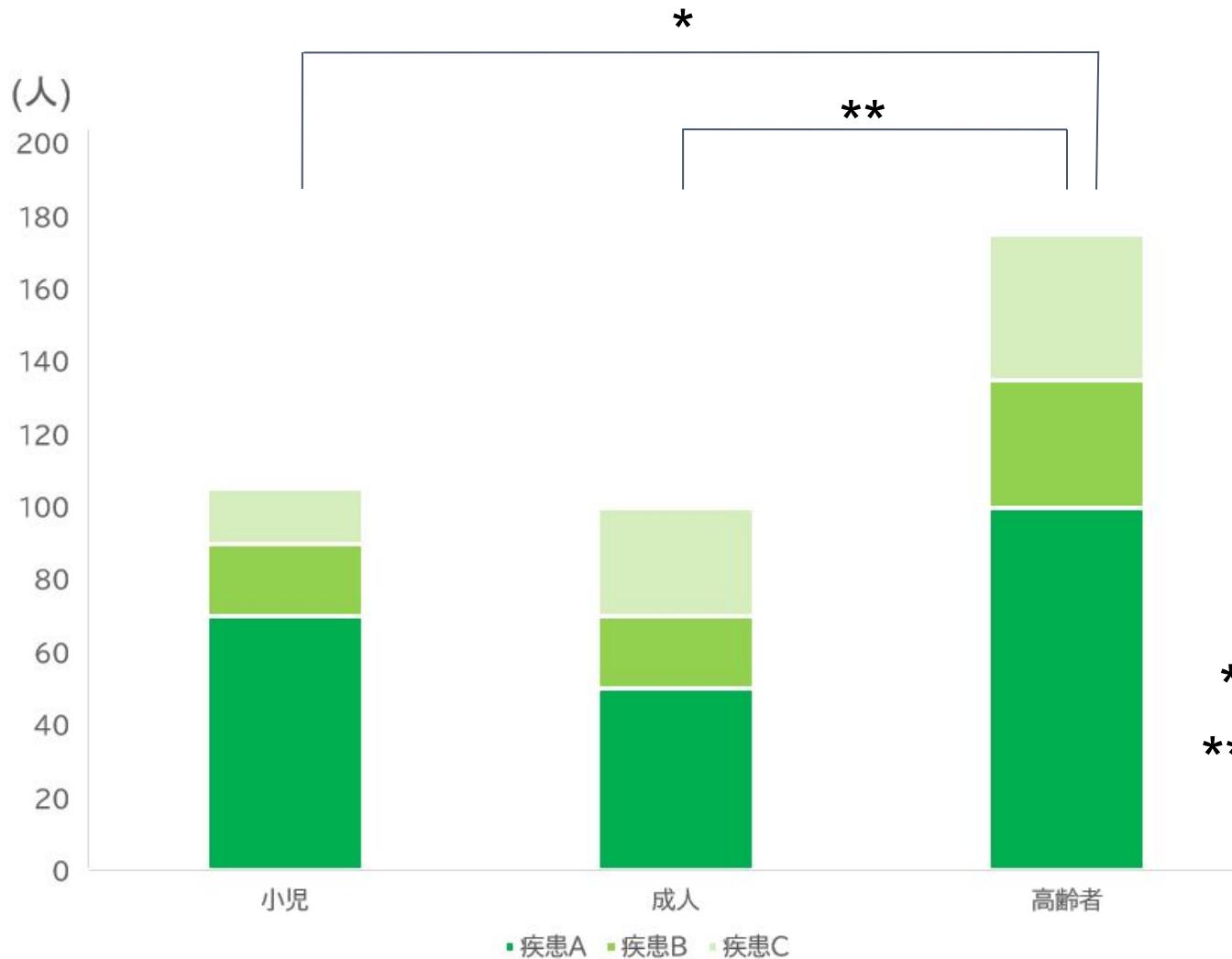


割合



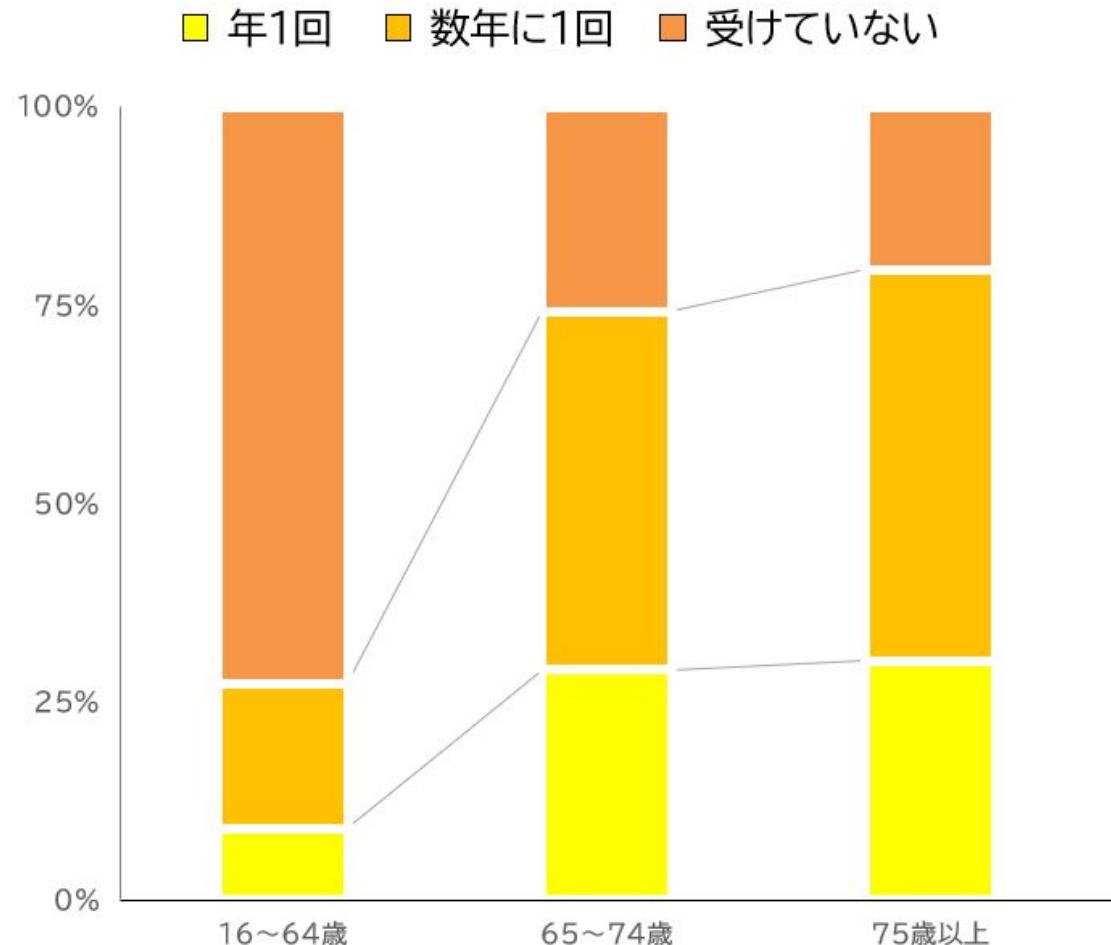


## 例) 群別に「差」を示すには？



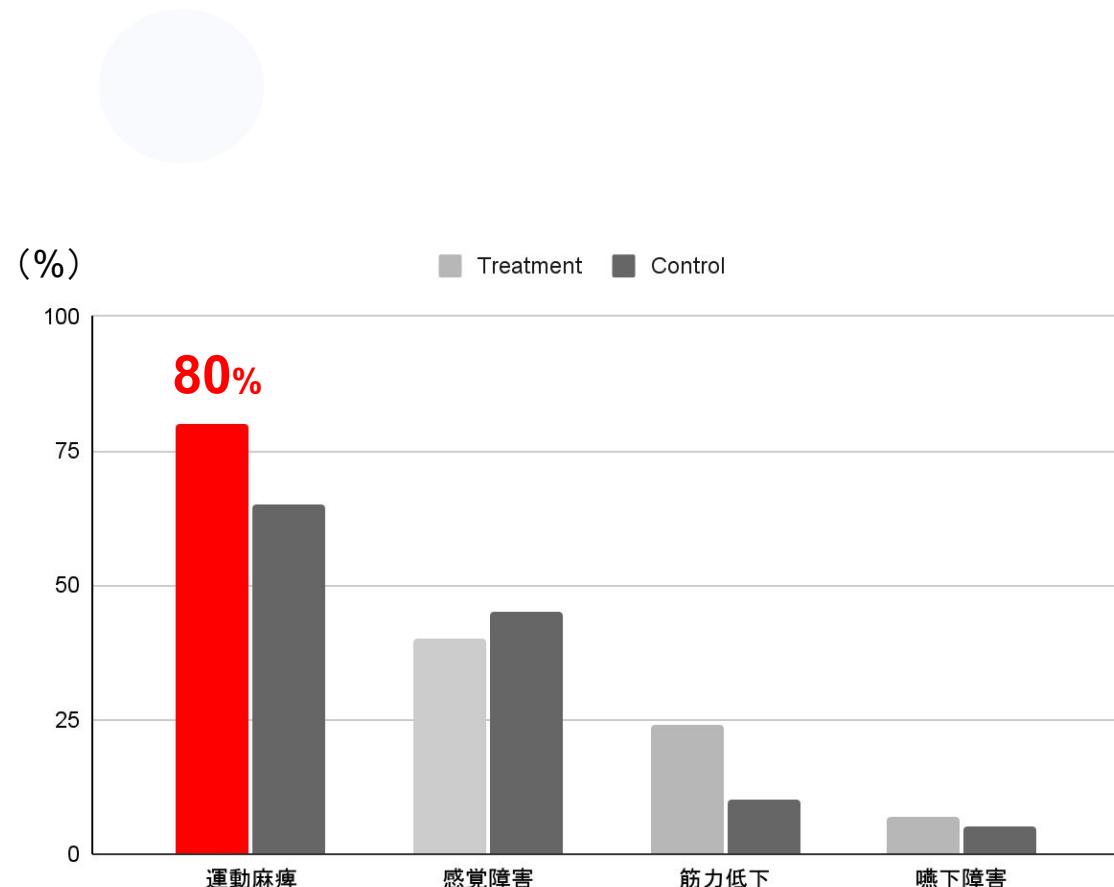
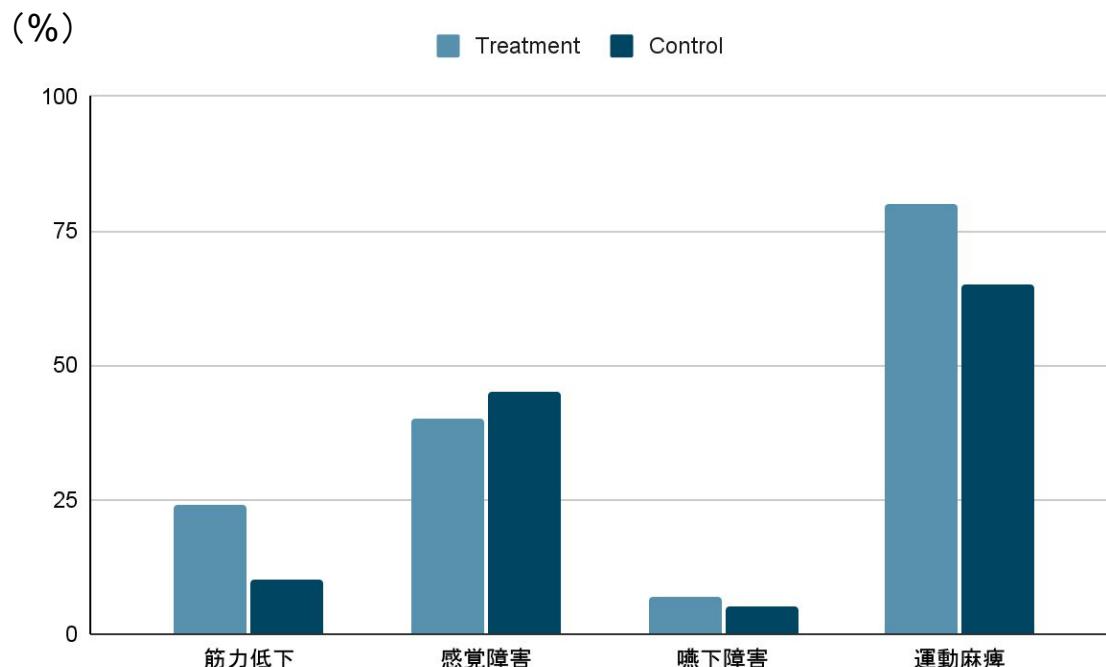
積み上げ棒グラフ

## 例)「差」と「割合」を同時に示すには?

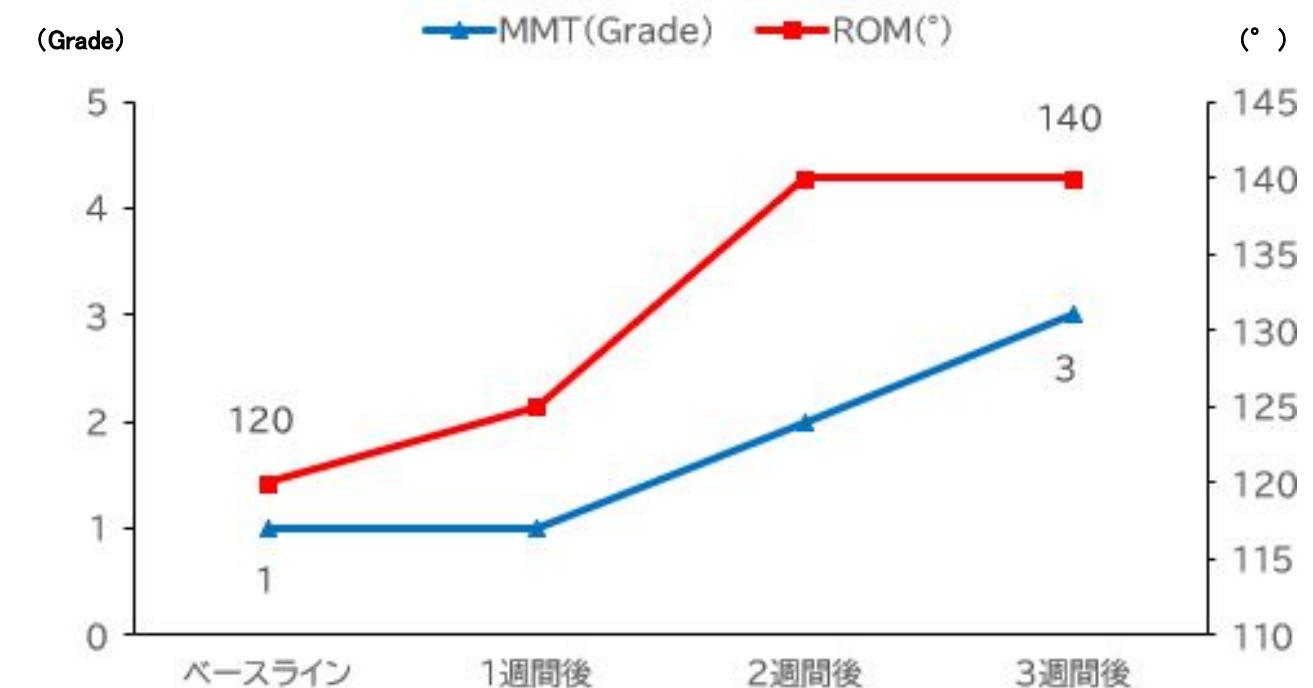
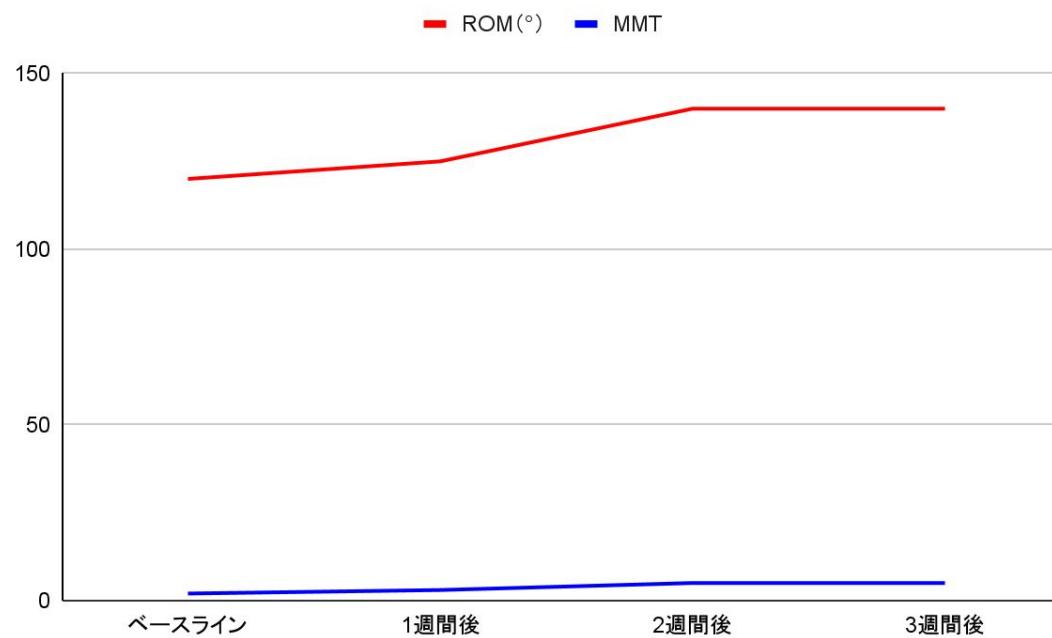


100%積み上げグラフ

## 例) 見やすくしたグラフ



## 例) 見やすくしたグラフ



数値の大小を調整するには、「第2軸」を選ぶ

## 例) 見やすい結果の示し方(表)

### 【検査結果】

ROM:股屈曲 120°、股伸展 5°、膝伸展 0°、膝屈曲145°、足背屈0°、足底屈30°

MMT:股屈曲5、股伸展3、股外転2、膝伸展4、膝屈曲4、足背屈3、足底屈4

バランス:片脚立位時間 15秒、FRT 15cm、BBS 32点、TUG 19.5秒

歩行:10MWT 16.5秒

羅列は見にくい場合が多い

## 例) 見やすい結果の示し方(症例報告の表)

	ベースライン	2週間後	最終評価
ROM			
股屈曲	120	130	130
股伸展	0	0	5
MMT			
股屈曲	3	4	5
股伸展	2	3	4
バランス			
BBS	32	36	45
TUG	19.5	17.0	15.5



	ベースライン	2週間後	最終評価
ROM, (°)			
股屈曲	120	130	130
股伸展	0	0	5
MMT, (Grade)			
股屈曲	3	4	5
股伸展	2	3	4
バランス			
BBS, (点)	32	36	45
TUG, (秒)	19.5	17.0	15.5

黒線は横線だけ、単位を忘れずに!

ROM: range of motion, MMT: manual muscle test, BBS: berg balance test, TUG: timed up and go test.

## 例) 見やすい結果の示し方(研究報告の表)

介入群(n=25)			対象群(n=23)				
	介入前	介入後	p-value		介入前	介入後	p-value
<b>ROM, (°)</b>							
股屈曲	120.0 ± 10.5	130 ± 11.0	0.08		117.0 ± 8.5	128 ± 11.5	0.10
股伸展	0.5 ± 1.0	0.8 ± 1.2	0.06		0.7 ± 1.4	0.9 ± 1.1	0.07
<b>HHD, (kgf)</b>							
股屈曲	20.5 ± 5.4	25.7 ± 4.0	0.04		20.1 ± 4.9	22.0 ± 3.5	0.11
股伸展	10.0 ± 6.7	17.0 ± 4.0	0.01		11.3 ± 8.1	15.0 ± 4.4	0.04
<b>バランス</b>							
BBS, (点)	32.0 ± 3.4	40.0 ± 5.0	0.01		31.2 ± 5.5	35.0 ± 4.0	0.25
TUG, (秒)	19.5 ± 2.0	17.0 ± 1.7	0.03		18.9 ± 2.5	17.1 ± 2.0	0.04

平均値 ± 標準偏差で示す。

ROM: range of motion, HHD: handheld dynamometer, BBS: berg balance test, TUG: timed up and go test.

# 問い合わせ先

群馬県理学療法士協会 学会部  
林翔太

s-hayashiアットpazドットacドットjp  
(メールを送信される際は、アットを@、ドットを.に変換してください)